

陳 情 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	1 7 3 6	受 理 年 月 日	令 和 6 年 4 月 22 日
件 名	給食センターの建設に係る施設調査の実施		
要 旨	<p>京都市の2024年度予算が可決され、給食センター建設への調査予算が計上された。小学校のような全員制の中学校給食をめざす@右京では、3月26日に大型給食センター建設計画を白紙に戻すことを求める要望書を京都市に提出し、給食の配送時間の再調査や調理後2時間以内の喫食を確保するために、柔軟に全校を対象とした施設の調査をすることを求めた。</p> <p>文教はぐくみ委員会ではリスク分散のため、複数のセンターやサテライト施設について意見が交わされている。</p> <p>右京区では、給食センター建設予定地からの配送時間がグーグルマップでは嵯峨中学校まで通常であれば23分、混雑時は50分とされている。給食は、月曜日から金曜日まで毎日提供されている。京都市は、全国から観光客が訪れる所でもあり、交通混雑が予想される。調理後2時間以内の喫食ができるのか疑問である。桜や紅葉の観光シーズンに改めて調査する必要があると思う。委員会で表明されている1時間の余裕を持って配送できない可能性がある中学校を明確にしてほしい。</p> <p>また、防災の観点からも、中学校にも給食施設が必要である。巨大な給食センターでは、道路寸断、液状化の影響などにより、炊き出しを作っても配送できないということも考えられる。京都市の防災計画の見直しや整備、リスク分散の観点からも中学校に給食施設が造れる所を調査することを望む。</p> <p>右京区では、市有地である京都市計量検査所跡地や敷地面積の広い中学校などで給食施設建設の可能性について調査し、小中一貫校では既に中学校給食が実施しているため、実施できる所は令和10年を待たずに実施することを望む。</p> <p>子供たちの健康と豊かな食育、地域住民の避難所における適切な食事の確保のためにも、リスクの多い計画を見直すことを強く望む。</p> <p>ついては、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 京都市計量検査所跡地を防災給食センターとして建設できるのか調査すること。また、併設している自治会館などを充実させ、防災機能を強化すること。</li> <li>2 西京極、蜂ヶ岡、嵯峨中学校などで給食施設建設の可能性について調査すること。小中一貫校では既に中学校給食が実施しているため、実施できる所は令和10年を待たずに実施を目指すなど、柔軟に検討すること。</li> </ol>		
陳 情 者			
回付委員会	文教はぐくみ委員会		